

2012年3月期 第2四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2011年11月8日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆生産および販売面への影響を含む、東日本大震災やタイの洪水による様々な影響
- ◆日本、北アメリカ、ヨーロッパ、アジアおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
- ◆為替相場の変動、特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、カナダドルおよびイギリス・ポンドの相場変動
- ◆金融市場における資金調達環境の変動
- ◆経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施するトヨタの能力
- ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
- ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- ◆タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
- ◆ブランド・イメージの毀損
- ◆トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況
- ◆仕入先への部品供給の依存

以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

将来予測・インサイダー取引について

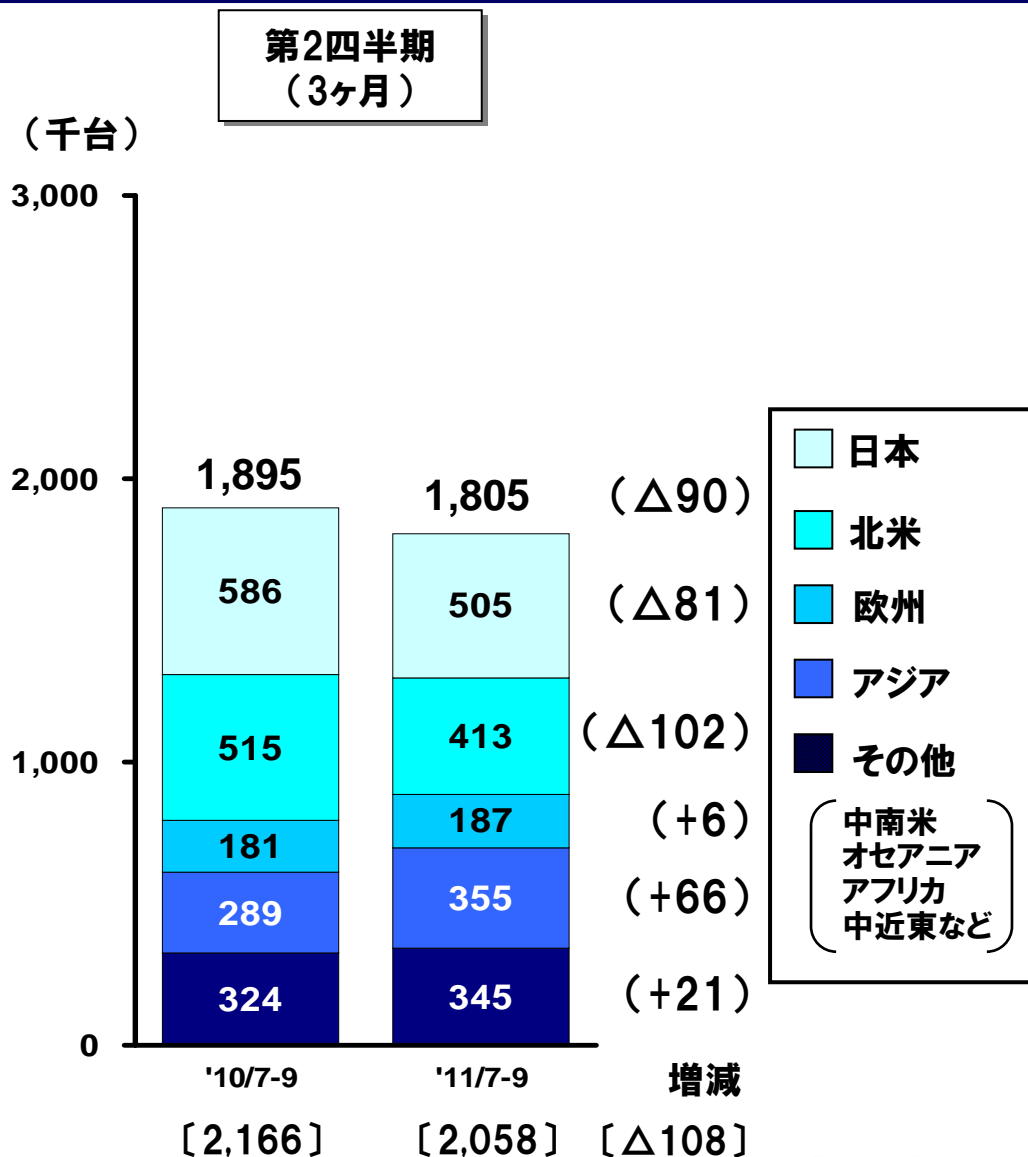
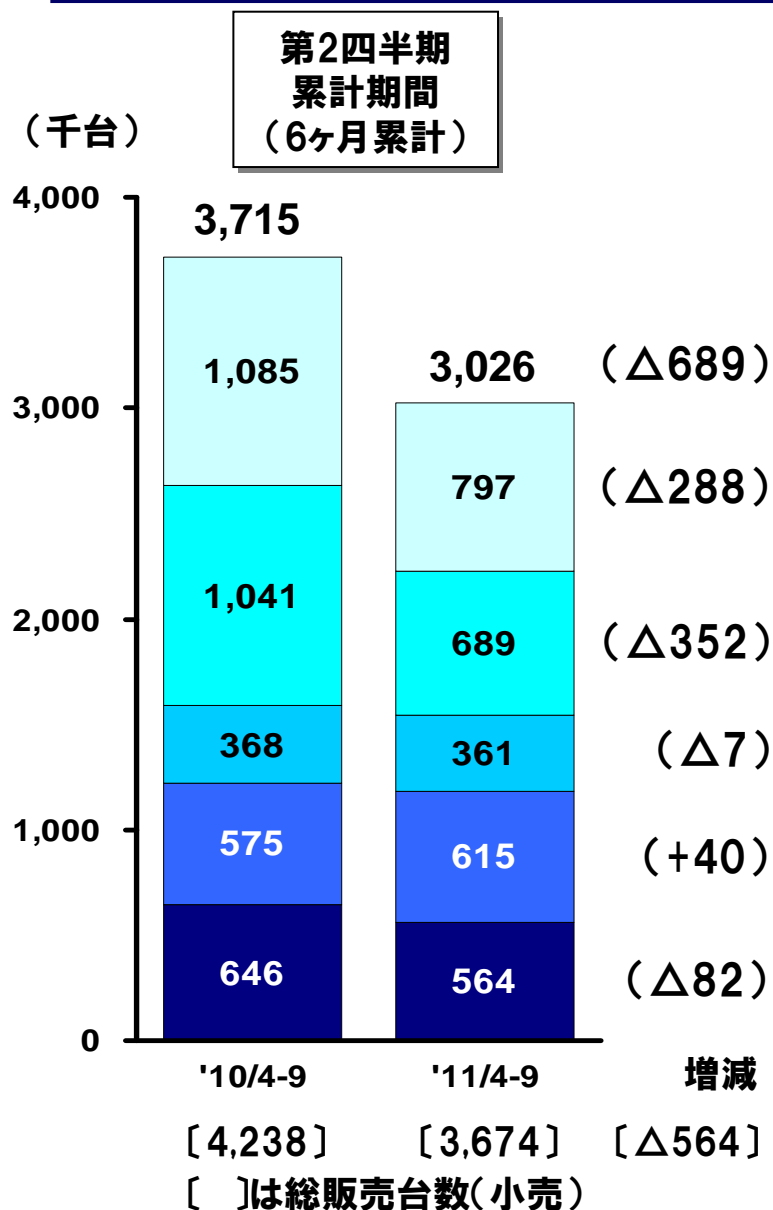
インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

**2012年3月期
第2四半期決算
(2011年4月～9月)**

【実績】

連結販売台数



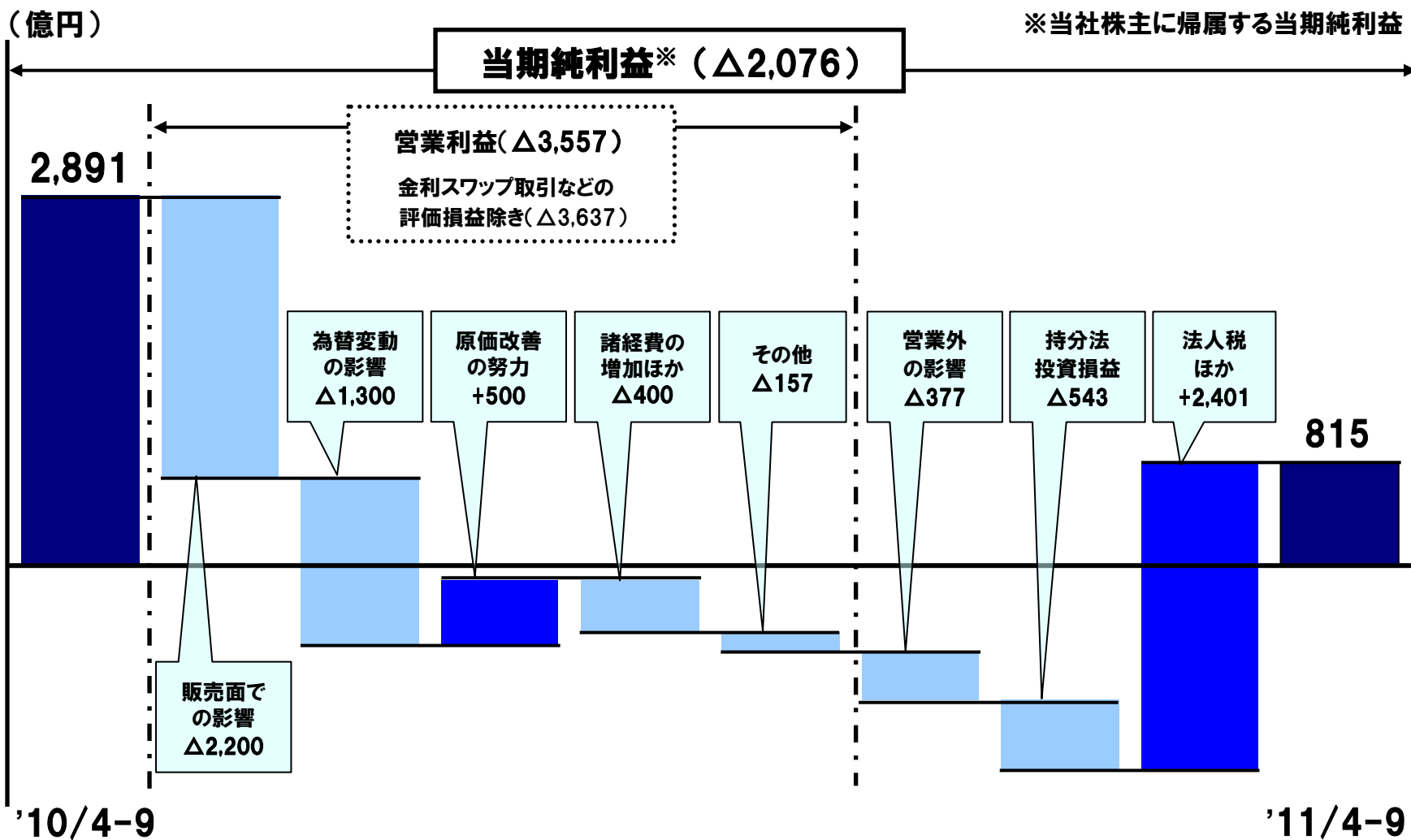
連結決算要約 (6ヶ月累計)

(単位:億円)

		当第2四半期 累計期間 ('11/4-9)	前年同期 ('10/4-9)	増 減	
					増減率
売上高		80,159	96,784	△ 16,625	△17.2%
営業利益		△ 326	3,231	△ 3,557	-
税金等調整前 当期純利益		△ 14	3,920	△ 3,934	-
当期純利益※		815	2,891	△ 2,076	△71.8%
為替レート	ドル	80円	89円	9円の円高	
	ユーロ	114円	114円	-	

※当社株主に帰属する当期純利益

連結当期純利益※増減要因 (6ヶ月累計)



<諸経費の増加ほか 内訳>

労務費の増加..... Δ700
研究開発費の増加..... Δ50

減価償却費および

設備関係費の減少.....+300
その他..... +50

<その他 内訳>

金利スワップ取引などの評価損益..... +80
海外子会社の営業利益換算差ほか.....Δ237

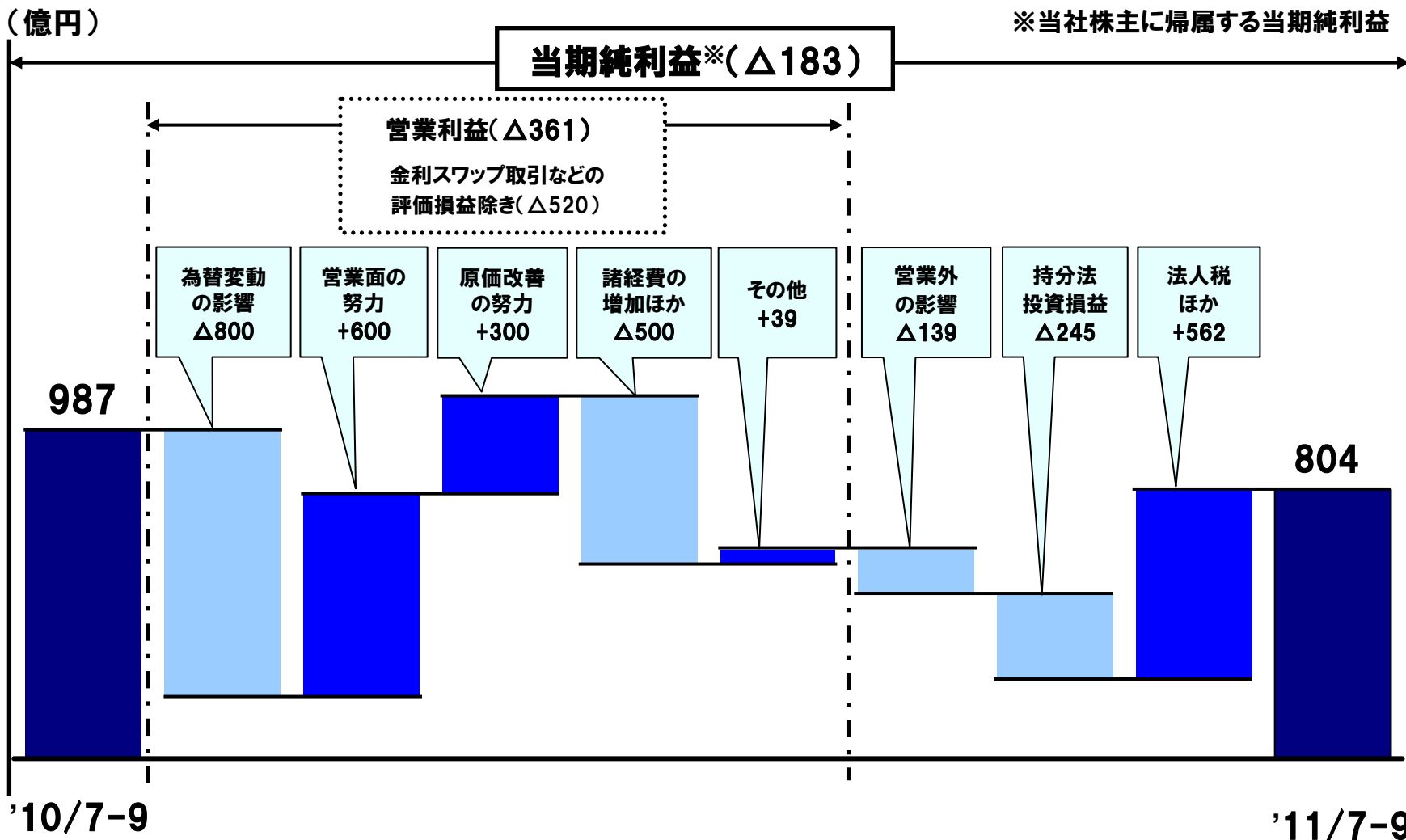
連結決算要約 (3ヶ月)

(単位:億円)

		当第2四半期 ('11/7-9)	前年同期 ('10/7-9)	増 減	
					増減率
売上高		45,749	48,067	△ 2,318	△4.8%
営業利益		754	1,115	△ 361	△32.4%
税金等調整前 当期純利益		791	1,291	△ 500	△38.7%
当期純利益※		804	987	△ 183	△18.5%
為替レート	ドル	78円	86円	8円の円高	
	ユーロ	110円	111円	1円の円高	

※当社株主に帰属する当期純利益

連結当期純利益※増減要因(3ヶ月)



<諸経費の増加ほか 内訳>

労務費の増加	△200
研究開発費の増減	0

減価償却費および

設備関係費の減少	+100
その他	△400

<その他 内訳>

金利スワップ取引などの評価損益	+159
海外子会社の営業利益換算差ほか	△120

所在地別営業利益 (6ヶ月累計)

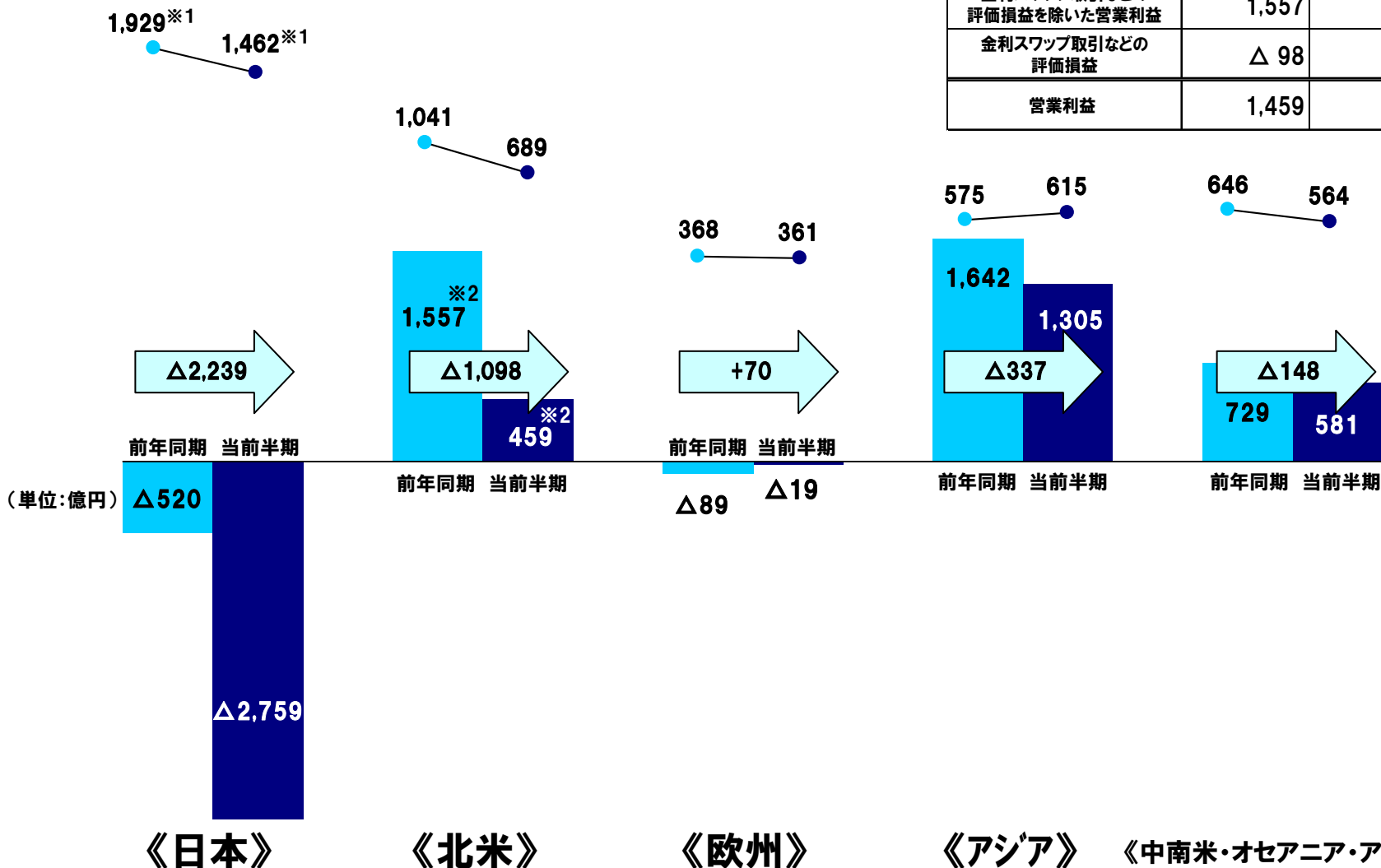
【連結販売台数】(千台)

(※1 日本は輸出台数を含む)

(※2 北米のみ、金利スワップ取引などの評価損益の影響を除く)

(単位:億円)

《北米》	'10/4-9	'11/4-9	増減
金利スワップ取引などの評価損益を除いた営業利益	1,557	459	△ 1,098
金利スワップ取引などの評価損益	△ 98	156	254
営業利益	1,459	615	△ 844

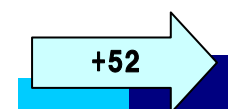
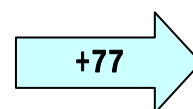
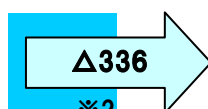
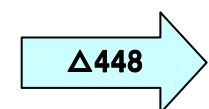
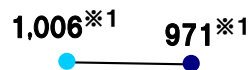


所在地別営業利益 (3ヶ月)

【連結販売台数】(千台) (※1 日本は輸出台数を含む)
 (※2 北米のみ、金利スワップ取引などの評価損益の影響を除く)

(単位:億円)

《北米》	'10/7-9	'11/7-9	増減
金利スワップ取引などの評価損益を除いた営業利益	466	130	△ 336
金利スワップ取引などの評価損益	△ 105	195	300
営業利益	361	325	△ 36



前年同期 当2Q

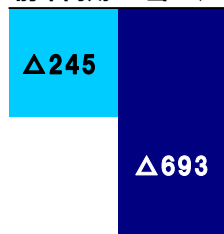
前年同期 当2Q

前年同期 当2Q

前年同期 当2Q

前年同期 当2Q

(単位:億円)



前年同期 当2Q



前年同期 当2Q



前年同期 当2Q



《日本》

《北米》

《欧州》

《アジア》

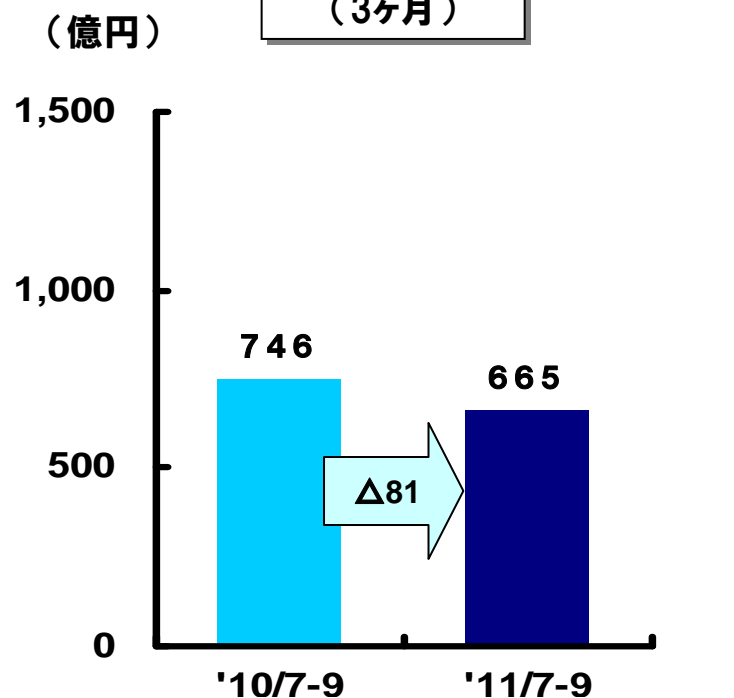
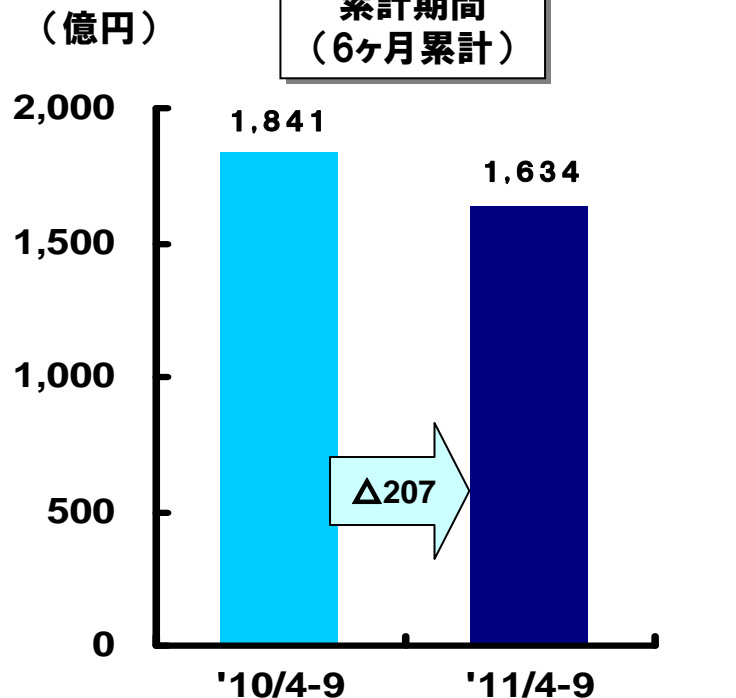
《中南米・オセアニア・アフリカ地域》

金融セグメント営業利益

金利スワップ取引などの
評価損益の影響を除く

第2四半期
累計期間
(6ヶ月累計)

第2四半期
(3ヶ月)



(単位:億円)

	'10/4-9	'11/4-9	増減
金利スワップ取引などの 評価損益を除いた営業利益	1,841	1,634	△ 207
金利スワップ取引などの 評価損益	△ 4	76	80
営業利益	1,837	1,710	△ 127

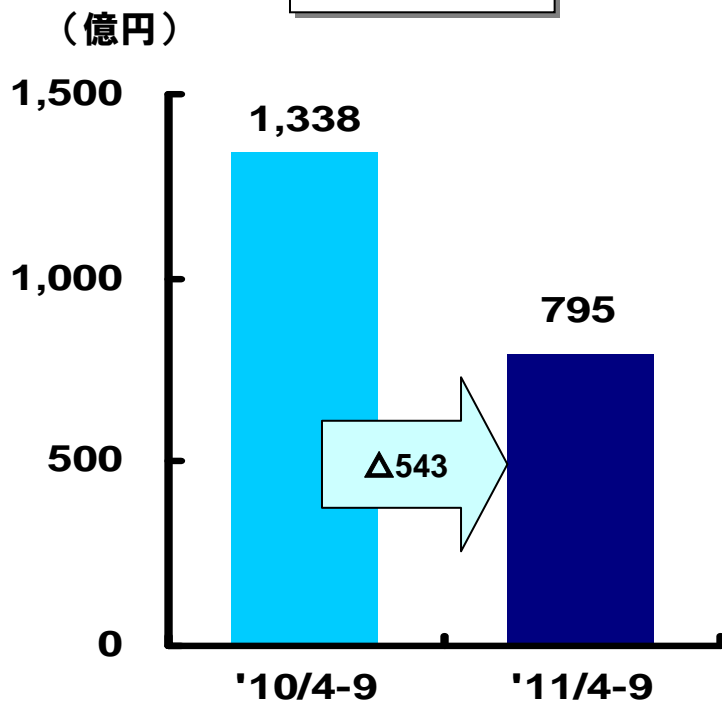
(単位:億円)

	'10/7-9	'11/7-9	増減
金利スワップ取引などの 評価損益を除いた営業利益	746	665	△ 81
金利スワップ取引などの 評価損益	△ 60	99	159
営業利益	686	764	78

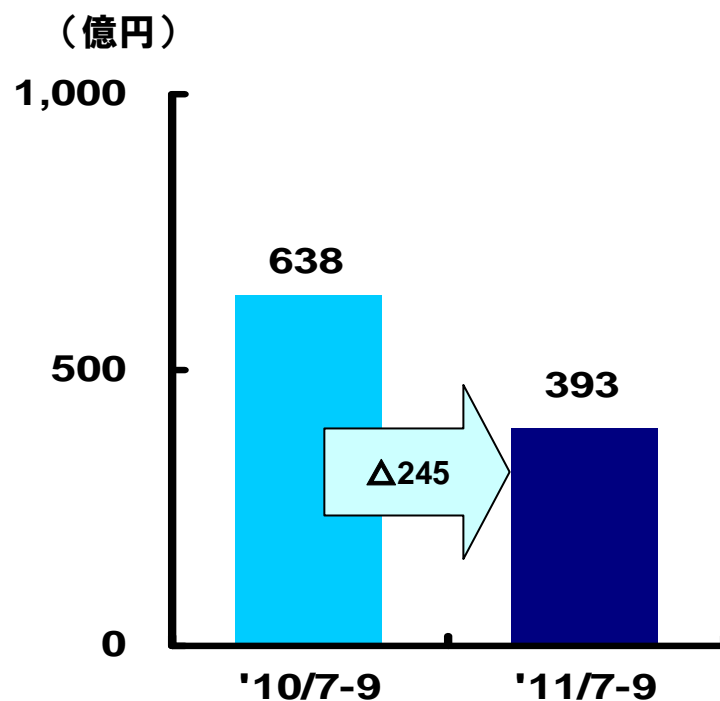
引当金の戻し入れ等により、前期の前半期収益が高水準のため、
前年同期比では、減益

持分法投資損益

第2四半期
累計期間
(6ヶ月累計)



第2四半期
(3ヶ月)



主に国内の持分法適用会社損益の減少により、減益

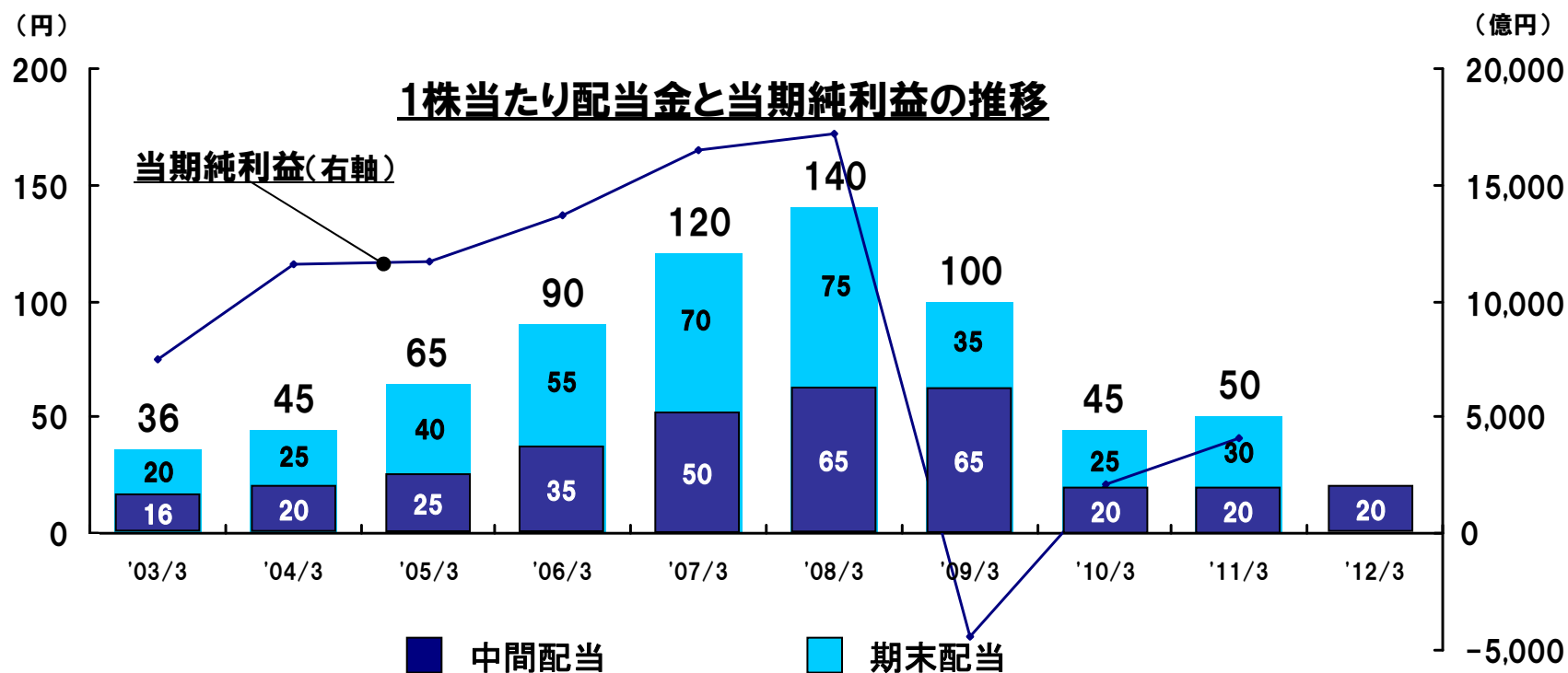
単独決算要約(日本基準・6ヶ月累計)

14

(単位:億円)

	当第2四半期 累計期間 ('11/4-9)	前年同期 ('10/4-9)	増 減	
				増減率
売上高	33,466	43,564	△ 10,098	△23.2%
営業利益	△ 3,223	△ 1,494	△ 1,729	-
経常利益	△ 756	1,908	△ 2,664	-
当期純利益	497	2,010	△ 1,513	△75.3%

中間配当：1株につき20円
(中間配当金総額：627億円)



2012年3月期 第2四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2011年11月8日